

がん化学療法指示書

登録番号 313

作成日 2022/1/12

レジメン名	ニボルマブ+mFOLFOX6療法
診療科・対象疾患	(外)HER2陰性の治癒切除不能な進行・再発胃癌 /食道胃接合部癌
投与間隔	2週間
投与サイクル数	PDIになるまで

Chemo Navi

薬剤名	成分名	投与量	投与日
オブジーボ	ニボルマブ	240mg/body	day1
オキサリプラチン	オキサリプラチン	85mg/m ²	day1
フルオロウラシル(急速静注)	フルオロウラシル	400mg/m ²	day1
フルオロウラシル(持続点滴)	フルオロウラシル	2400mg/m ²	day1~3

	滴下順	抗がん剤	薬剤(成分名)	投与量	時間	投与方法	投与スケジュール							
							day1	day2	day3	day14	
治療内容	注射	Rp1	生理食塩液	100mL	任意	ルート確保・フラッシュ用	●							
		Rp2	生理食塩液	100mL	30分	点滴静注メイン	●							
			癌 オブジーボ	240mg/body										
			総量を100mLにする											
		Rp3	生理食塩液	50mL	15分	経過観察・フラッシュ用	●							
		Rp4	パロノセトロン	1袋	15分	点滴静注メイン	●							
			デキサート(6.6mg)	1管										
		Rp5	癌 オキサリプラチン	85mg/m ²	120分	点滴静注メイン	●							
			5%ブドウ糖液	250mL										
			Rp.5とRp.6は同時に投与											
		Rp6	5%ブドウ糖液	250mL	120分	点滴静注側管	●							
			レボホリナート	200mg/m ²										
			Rp.5とRp.6は同時に投与											
		Rp7	癌 フルオロウラシル	400mg/m ²	10分	点滴静注メイン・全開	●							
		生理食塩液	100mL											
		Rp.5とRp.6両方終了してから投与												
		※1(投与の注意事項参照)												
	Rp8	癌 フルオロウラシル	2400mg/m ²	46時間	持続点滴	●	●	●						
		生理食塩液	200mL											
		ヘパリンNa	1mL											
		総量を140mLにする												
	Rp9	ヘパリンロックNaロック用100単位/mL シリンジ	1筒		ワンショット			●						
		抜針用												
その他必要薬剤														
総投与時間	day1:3時間20分(フルオロウラシルの持続点滴を除く) day1~3:46時間(フルオロウラシルの持続点滴のみ)													
血管外漏出リスク	オブジーボ:非壊死性抗がん剤 オキサリプラチン:炎症性抗がん剤 フルオロウラシル:炎症性抗がん剤													
投与時の注意事項	※1.Rp.7終了後、ルート確保用の生理食塩液を5分間流す ・オブジーボ(ニボルマブ)はフィルター付きルート要 ・シリコン製のCVポートは蛋白質の凝集を認めるため、使用を避ける。													
備考欄	Infusion Reaction Grade2の場合、オブジーボ(ニボルマブ)の投与を直ちに中止する。1時間以内に回復する場合には、投与速度を50%減速して再開する。 Infusion Reaction経験例では、次回より投与30分前に以下薬剤で前処置を行う。 レスタミンコーワ10mg 5錠 アセトアミノフェン300mg 2錠													